

2020 年上半期の中国 GDP について

岡山県上海事務所

2020 年上半期の実質国内総生産（GDP）成長率はマイナス 1.6%で 45 兆 6614 億元（8 月現在 1 元約 15 円）と中国国家统计局が発表しました。2020 年第 1 四半期の実質 GDP 成長率は前年比マイナス 6.8%と、新型コロナウイルスの影響で中国では初となるマイナス成長となりましたが、第 2 四半期に 3.2%とプラス成長に回復しました。7 月の経済指数も回復基調です。

また、今年上半期の中国 31 省、また都市の順位も発表されました。

省市区トップ 10 は下記となります。

	省市区	GDP	前年比成長率	2019 年順位
1	広東省	49,234.2 億元	-2.5%	1
2	江蘇省	46,722.9 億元	0.9%	2
3	山東省	33,025.8 億元	-0.2%	3
4	浙江省	29,087.0 億元	0.5%	4
5	河南省	25,608.5 億元	-0.3%	5
6	四川省	22,130.3 億元	0.6%	6
7	福建省	19,901.4 億元	0.5%	10
8	湖南省	19,026.4 億元	1.3%	8
9	安徽省	17,551.1 億元	0.7%	12
10	湖北省	17,480.5 億元	-19.3%	7

都市でのトップ 10 は下記となります。

	市（省市区）	GDP	前年比成長率	2019 年順位
1	上海（上海）	17,356.8 億元	-2.6%	1
2	北京（北京）	16,205.6 億元	-3.2%	2
3	深圳（広東）	12,634.3 億元	0.1%	3
4	重慶（重慶）	11,209.8 億元	0.8%	5
5	広州（広東）	10,968.3 億元	-2.7%	4
6	蘇州（江蘇）	9,050.2 億元	0.8%	6
7	成都（四川）	8,298.6 億元	0.6%	7
8	杭州（浙江）	7,388.0 億元	1.5%	9
9	南京（江蘇）	6,612.4 億元	2.2%	11
10	天津（天津）	6,309.3 億元	-3.9%	10

どちらも順位に大きな変化は見られませんが、省市区で見ると湖北省が前年7位から10位に下がり、成長率はマイナス20%近くとなりました。新型コロナウイルスの被害が最も深刻な省であり、都市封鎖もあり大きく影響を受けましたが、第2四半期の経済回復は大きく、コロナ禍の中で新しい産業やビジネスが誕生しています。一方で経済成長が特に目立ったのは、チベット自治区であり、上半期のGDPは838億3800万元（約1兆2574億円）で金額的には31省で最下位でしたが、前年比5.1%増は全国トップの伸び率でした。チベット自治区内の新型コロナ感染者は1名であり、3月から生産活動が回復するなど、経済への影響が比較的少なかったことが伺えます。

国家統計局の担当者は下半期の展望についてのインタビューに対し、「第2四半期はさまざまな経済指標が回復しており、下半期の継続的な景気回復は楽観できる」とし、大きな要因として次の三点を挙げました。第一に、上半期の景気回復が下半期の経済回復の基礎となること。第二に、新型コロナウイルスの拡大中に多くの新産業、ビジネスモデルが産み出され、景気回復を強かにサポートしていること。第三に、マクロ政策の効果がさらに広がっていくと見解を示しました。

参照：

国家統計局

<http://www.stats.gov.cn/>

国家統計局会見内容

http://www.stats.gov.cn/tjsj/sjjd/202007/t20200716_1776345.html